

平成 2 5 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	御船事業の担い手(後継者)の育成
事業主体 (連絡先)	豊里御船保存会 安曇野市穂高有明 8 3 6 1 - 1 7 (〒399-8301、Tel.0263-83-8322)
事業区分	(1) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4 5 4 , 6 1 1 円 (うち支援金: 3 2 0 , 0 0 0 円)

事業内容

- 御船事業の担い手(後継者)の育成
  - 御船組立
  - 人形制作
  - お囃子指導
  - 御船曳航



事業効果

- 御船事業が区民の自慢できるものになりつつある。
- 保存会青年部の事業への積極的な参加が目立つ。
- P T A、育成会の父母が御船曳航を自分達の事業と捉えている。この様に親の関心が高まることにより親子のコミュニケーションが深まった。
- 区の他の行事に良い影響を及ぼしている。  
(区民の話: 運動会への若者の参加が多くなった。  
秋の祭典があったからだ。)
- 御船事業が区内だけでなく、区外や他県の人にも関心を持たれるようになってきた。  
(祭りへの区外、他県の人参加・穂高神社祭典関係者からの高いお囃子の評価)

※ 1 自己評価(事業実施率)【 A 】

【目標・ねらい】

- 御船・人形製作(制作)技能向上
- 子ども達が社会性を身につける
- 仲間意識を高め世代間の交流を図る
- P T A・育成会との連携を深める
- 地域協働のきっかけづくり

今後の取り組み

- P T A、育成会との連携強化により若い人達の事業への関心が高まり、活気に満ちた祭典になった。今後連携を一層推し進めると同時に、この関係を区の他の行事にも広めたい。
- 祭典の服装についての P R 活動を行い、祭典時特に若い母親達にも法被を着用してもらい、お祭りを皆でもっともっと心から楽しむ雰囲気をつくりたい。
- お囃子は小学生(お囃子こども連)で構成しているが、うれしいことにお囃子こども連を退団した中学生の祭典時のお囃子参加希望者も出てきた。今後中学生をどのような形で参加させるか検討したい。
- 人形制作技術の向上。(穂高人形教室への参加、研修)
- 御船事業を通して地域の観光施設との「地域協働」の可能性があることが感じられた。まず祭典ポスター等を制作し、施設への掲示依頼等を通して協力関係を構築することから始めたい。

※ 2 自己評価(事業効果)【 A 】